

明海大学 浦安キャンパス 同窓会報

第14号
2008.12
December

新春対談



安井利一学長（左）と北原淳会長（右）

これからの明海大学・

同窓会の発展を語る

今年度より新たに明海大学学長に就任した安井利一氏。歯学部卒業生でもある安井学長は、「同窓生」と「学長」という両方の立場で、大学の現在と未来を見つめている。明海大学の発展のために、大学と同窓会が協力し何ができるのか。安井学長と同窓会・北原淳会長とが、その思いを語り合う。

明海の「カラー」を創る

熊沢基之編集長（司会/以下、熊沢）
学長から現在の浦安キャンパスを見て、いかがでしょうか。

安井利一学長（以下、安井） 坂戸キャンパスの歯学部では同窓生が多く教職に就いていますので、大学のカラーを出すのは簡単だと思います。浦安キャンパスの各学部の場合はあまり同窓の教員が少ないので、同窓生の皆さんに手伝っていただいてカラーをつけていかないといいけないと思います。

北原淳会長（以下、北原） 「校風」というものですね。

安井 そう。今はまだ曇り空のような色。私にとっては同じ大学の後輩だから学生は皆かわいいのですが、浦安のように4つも学部があると、どのようなことをしたらいいのか難しいですね。だから少しずつでも、学生さんに「明海大に入ってよかった」「ここで勉強してよかった」「ここを卒業してよかった」という3つの「よかった」を創ってあげられたらと思っています。

例えば、セキュリティ。医療系の歯学部と違い、浦安キャンパスは一般の人も通行できる大学なので、学生さんを預かっているわれわれは、危険な人物が入ってきたときにどう学生を守れる



るかを考えなければいけない。

保護者の団体である教育後援会は、実際にご子女を預けているのでさまざまなリクエストをくださっています。同窓会もいろいろな意見を言ってくれらるとありがたいですね。

北原 現状では、学生との懇談会を年に1回開き、直接学生の意見を聞く機会を設けています。

私は歯学部のことをよく知らないのですが、創成期のころのお話を伺いたいのですが。安井 歯学部は1970（昭和45）年の創立で、歯科医師が非常に不足していた時代でした。私たちは2期生でしたし、医療関係は出身大学が重要視されるので、

次ページへ続く

自分たちで大学の「カラー」を創りあげていかなければいけませんでした。

「城西医科大学（当時）出身の先生は臨床がいい」など、社会的評価もすぐにフィードバックされてきました。今はカリキュラムが変わってしまったので、昔ほどの色を出しにくくなっていますが、代わりに伝統ができています。

北原 浦安では伝統というものがまだあまりないですね。やはり、われわれ同窓生が社会でどういう評価を受けるかが、大きくかかわってくるのでしょう。

安井 2つのキャンパスは同じ明海大ではあってもずっと交流があるわけではないので、もう少し交流があったほうがいいのかなと思います。

北原 「オール明海」のような感じで運動会やサマーキャンプを一緒にできるといいですね。

同窓会の運営と課題

熊沢 同窓会の運営と課題、大学に働きかけるべきことはありますか。

北原 われわれの世代は仕事で手一杯なので、同窓会との両立が難しいところですね。

安井 浦安キャンパス同窓会ができて15年なら仕方ないと思います。大きなことをやろうとしなくても、年に1回、全国からあれだけの人数が集まり、意見が交わされる代議員会が開かれているだけでも立派だと思えますよ。

北原 あの形ができてきたのはここ3、



(きたはら・じゅん)
明海大学浦安キャンパス1期卒業生
(外国語学部日本語学科)。2004年より同窓会会長。埼玉県在住。

4年のことですね。15周年の式典が大きなきっかけになり、理事会もよく動き始めました。これからもそれを継続していくことが一番の課題です。

熊沢 これからは菌学部との連携も視野に入れられるでしょうか？

北原 これまではあまり接触の機会がなかったのですが、これから何か一緒にしていけたらいいですね。

安井 菌学部とは、キャンパス間の距離があるので、年に1回でも接触の機会があるといいですね。

北原 そういう意味では、サマーキャンプはいい機会なのかなと思います。

安井 そうですね、現役の学生時代に交流ができていけると、卒業してもそれが続いていくのではないのでしょうか。

北原 菌医者さんにかかるとき、明海出身のお医者さんと心強いし、行きやすいと思います。そのような、どこに明海の卒業生がいるかという情報も発信していきたいですね。

安井 大学側から、卒業後も皆さんがうまくコミュニケーションできるようなサポートできたらと思います。社会的に活躍している卒業生がいたら、大学の強い広報力を使って発信することもできますね。

学内散策

浦安キャンパスの現在

この20年、年を経ることに進化を遂げてきた浦安キャンパス。現役生の竹内由梨さん（英米・4年）を案内役に、現在の学内を散策！

A じっくり勉強できる！ 図書館

かつては管理・研究棟にあった図書館が、2000年に新築された「30周年記念館」へと移転。所蔵27万冊、充実したマルチメディアを誇る図書館に生まれ変わった。



ここは5階の個別閲覧室。鍵がかかり、見晴らしもよく、携帯電話は禁止。かなり集中してレポートが書けます！



◀ 分別タイプのゴミ箱



▲ 緑化された屋上



▲ 1階は本や履歴書、雑貨も買える便利な売店

B お昼どきは大混雑 学生食堂 マリーングズ

約400人収容できる学食は、昼どきともなると学生で大賑わい。ワンコインで満腹。



私の周りでは『お母さんカレー』（350円）が人気です。サラダ付き！



◀ 「テラス席もあります」



よりよい大学にしていくなために

熊沢 会長の考える、浦安キャンパスの「カラー」は何だと思いますか？

北原 私たちは1期生だったので、自分たちで一から創りあげていこう、新しいことをどんどんやっていこうという気持ちで強く、社会に出てからもそれが役に立ちました。そのバイオニア精神が明海の伝統になり、今の学生にも継承されてほしいと思います。それが明海カラーであってほしい。

安井 「明海の人間力」、つまり、社会性や合理性、創造性の3つの能力をどう学生に身につけさせるか。4年間で、社会でたくましく生きていくための術を、教員が一丸となり身につけさせたい。そのために、カリキュラムをしっかりしたものにしよと改革に取り組んでいます。ところで学生からは同窓会に對してどのようなエクストが寄せられていますか？

北原 施設や設備といったハード面の要求が多いです。「就職に当たって先輩を紹介してほしい」という相談は、意外と少ないですね。

安井 このように就職などが厳しい状況になると、全くの他人より同窓生のほう



(やすい・としかず)

北海道出身。城西歯科大学(現・明海大学)大学院歯学研究科博士課程修了(歯学博士)。口腔衛生学の専門家で、2003年より同大歯学部学部長を、2006年からは副学長を務めた。

が仕事についての話を聞きやすいでしょうね。就職に強いのは、大学として大きな戦力ですから。大学と同窓会がうまくコミュニケーションをとり、学生のプラスになるようにすればいいですね。

北原 課外活動についてはどうお考えですか？

安井 自己実現のためには健康でないといけないし、人生の豊かさも大事なのでなるべく参加してほしいですね。

北原 卒業後もつながることができる仲間も増えますし。

安井 アクティビティの高い学生生活を送ってほしいです。今の学生はパソコン等をいじっているせいか、コミュニケーションが苦手なようなので。

北原 やはり「オール明海」のような機会が必要ですね。

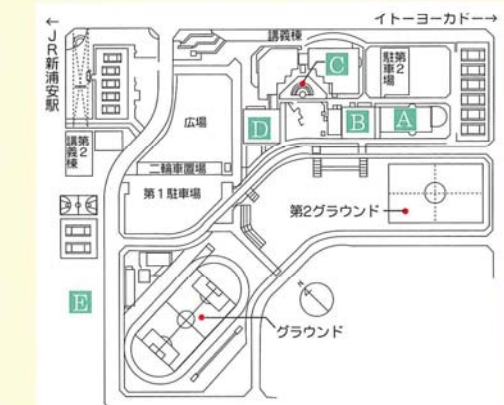
安井 同窓生も参加し、自分のバックにはこんなにいるんな人がいるんだということを知ってもらえたらと思います。

大学は人を創って人を送り出していく。だから真剣に学生と向き合わなければいけないんです。同窓会からのフィードバック、いわば「よき批判」がないと大学は発展しません。自分の殻に閉じこもってしまったら大学はおしまいですからね。

北原 大学を良くしていくためには、発展的な批判も必要なことですね。よくわかりました。

熊沢 今日は、お二方に貴重なお話をいただきました。これを大学の発展につなげて行けたらと思います。ありがとうございました。

が仕事についての話を聞きやすいでしょうね。就職に強いのは、大学として大きな戦力ですから。大学と同窓会がうまくコミュニケーションをとり、学生のプラスになるようにすればいいですね。



現在のキャンパス、いかがでしたか？私にとって明海大は、広くて明るくて新しい、思い描いたとおりの“The大学”。もうすぐ卒業ですが、また足を運びたい母校になりました！先輩方もぜひお越しくださいね。



C かつては池がありました
円形ステージ

禁煙に指定されたので、快適。良かったです！

円形ステージのまわり池だった部分がテラスに

D 就活を応援！
ラウンジ&就職サポートセンター

管理・研究棟2階にあるラウンジには、コンピュータがズラリと並び、就活中の学生が集っている。サポートセンターのスタッフは心強い味方。

E ますます敷地が拡大中！
屋外

芝生のグラウンドの奥では、ラグビー部が練習してま〜す。

グラウンドが2つ、テニスコートが13面、バスケットボールコート1面と、年々、広く充実する屋外施設。メインゲート付近には、屋外ステージも新設された。

◀ シンボルロードをはさんだところに建った「ホテル エミオン」

サプライズがいっぱい！
懐かしい顔に会えて

元気もらった



第17回明海大学浦安キャンパス同窓会パーティー

2008年度の浦安キャンパス同窓会パーティーが、11月1日に明海クラブ・レストランニューマリンスで開催された。今回も例年並みの参加者があり、先生方、大学職員、教育後援会、学友会などの来賓を交えて盛大なパーティーとなった。ま

ず、武藤俊一副会長が「卒業生が増えるに従って、年々賑やかになっていきます。今日は先生方もたくさんお見えになっていますので、懐かしい顔を見つけて旧交を温めてください」との言葉を述べた。来賓の安井利一学長からは「私も同じ明海大学（歯学部）の卒業生です。今日は一緒にパーティーを楽しみたいと思います。これからも明海大学のサポートとして皆さんの温かい支援をお願いします」と、教育後援会の仲村会長からは「卒業生の皆さんの活躍が明海大の評価を上げることになり、現役の明海大生に勇気を与えます。私たち教育後援会も同窓会の皆さんと一緒に明海大学を盛り上げていきたい」とのメッセージが送られた。



パーティーに参加している教職員を紹介する場面では、会場から大きな拍手がわき起こった。小泉允副学長が乾杯の発声をし、参加者はずらりと並んだ料理を楽しみながら、賑やかに談笑。途中の抽選会では、当選番号が発表されると、会場の中から大きな歓声があがっていた。話はいつまでも尽きなかったが、終了の時間を迎え、次の機会の再会を約束して、パーティーはお開きとなった。

来るといいことが
ありますよ！



不動産学部の仲間、集まれ！



狙ってました、1等賞！！(任天堂Wii)

出席された先生方

- 学 長 安井利一先生
- 副学長 允副先生
- ◆外国語学部 小泉允先生、原口庄輔先生、魏山鐘先生、西島俊一先生、松井和也先生、原寛之先生、西川直樹先生、下田朝宜先生、藤木康史先生、佐々木礼二先生、宮崎龍輝先生、岡村亞夫先生、林塚義高先生、加賀優二先生、草野健先生、白野伊津夫先生、市川重雄先生、中井延美先生
- ◆経済学部
- ◆不動産学部
- ◆HT学部



▲「小さなお子さんの姿が目立ちますね。明海2世となってくれると嬉しいですね」とパーティー初参加の安井学長（左）。「今年は案内状の送付数を絞ってみました。みなさんの反応はいいようで、ほっとしています。来年はキッズコーナーを設けるとか、何か対応を考えたい」と、同窓会の武藤副会長（右）。



その節はお世話になりました！

◆パーティーの様子は、ホームページ上でも詳しくご紹介しています！

同窓会日本語学科支部設立に向けて

支部設立準備委員会代表 立花健一

本学浦安キャンパスの開設、外国語学部設置から今年で20年の節目を迎え、各学部・学科ごとの同窓会活動も一層活性化しております。また、私たち明海大学卒業生も、いよいよ実社会における中核的役割を担う年齢にさしかかり、その活躍にさらなる期待を受けていると言えます。

そのような中、私たち日本語学科卒業生による、正式な同窓会組織の設立に向けた準備も本格化してまいりました。現在、会則の策定を経て、アクションプランの作成、情報発信体制の整備など、徐々に組織としての実像が浮かび上がってまいりました。

本組織の設立目的は「同窓会を軸にした、有機的な交流の輪の構築」にあります。私たちが社会で得たさまざまな経験、体験を背景に、卒業生同士の交流の場はもちろん、卒業生と在学学生、将来的には地域社会をも巻き込み、さまざまな切り口からの交流の輪を形成することで、本学、卒業生個々、そして地域社会の発展に寄与しようというものです。皆様のご参加を心よりお待ちしておりますとともに、温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



充実に力をいれる3年目

中国語学科支部代表 川島信一

今年度は2009年1月31日に第3回のパーティーを行います。ちょうど旧正月の後半の週末でもあり、一時帰国されている方も参加しやすい日程になっています。



卒業生が1000名強の小さな学科ではありますが、毎年多くの参加者が集まり、他の学部と比べても高い参加率となっています。昨年までと異なり、今年は昼に開催しますので、お子様連れの卒業生も気軽に参加いただけると思います。また、ご夫婦での参加も可能になります。場所は今年も浦安を予定しています。参加費などの詳しくはホームページ、案内のハガキをご覧ください。HSK受験者への補助も今年からは通年の受付となっています。また対象を高級まで拡大しました。補助額も今年からは5000円に増額しています。まだ申し込まれていない方はぜひ申請してください。

設立から3年経ち、毎年恒例の活動は行えるようになりましたが、役員が全員忙しいため、なかなか密度の濃いサービスができません。しかし、マイペースであっても確実に進めてまいりますので、今後ともご支援のほど、よろしくお願い致します。

明英3周年、外国語学部へ続く歴史を

英米語学科支部「明英」代表 志村典英

2008年、外国語学部が創立20周年を迎えました。4月26日(土)、午後6時よりオリエンタルホテル・東京ベイで「2008年度明英親睦パーティー」を開催しました。昨年同様、50名を上回る大勢の皆様にお集まりいただき、限られた時間ではありましたが懐かしい級友やお世話になった恩師との近況報告や情報交換など、それぞれが楽しいひと時を過ごすことができました。



11月29日(土)は「効果的な授業創りを目指して」というテーマで、「2008年度 明英英語教育セミナー」を開催し、東郷秀光先生(明海大学名誉教授)より英文学の観点から英語教育に関するご講演をいただき、昨年同様、大勢の参加者による活発な意見交換を行い、実りのあるセミナーを実施いたしました。

また、クリスマスには温かいメッセージやデザインとともに、英米語学科卒業生の皆さまへ、毎年恒例のクリスマスカードをお届けしております。

今年度末に、1年間の活動報告を中心としたニュースレターの配信を予定しています。多くの方々へ支えられながら3年間を過ごしてきた明英ですが、より一層の発展に向け、今後も引き続き、皆さまのご支援ご協力を、よろしくお願い致します。

ホスピタリティ・ツーリズム学科

同窓会が設立

HT学科支部「明翔会」代表 山下純八

われわれが1期生としてホスピタリティ・ツーリズム(HT)学科に入学したのが2005年4月。将来ホスピタリティ産業に勤めることを目標に学んでまいりました。月日が流れるのは早いもので来年3月、卒業を迎えようとしております。それに先立ち、昨年度よりHT学科に同窓会を設立しようと動き出しました。われわれの成長を支えてくれた母校の隆盛をはかり、また同窓会会員相互の親睦や学術の振興、その他社会の発展に寄与することを目的としております。

現在、卒業までの活動といたしまして、来春卒業する学生及びお世話になった先生方を対象としたパーティーを計画しております。



このような会を皮切りに、今後も情報交換などさまざまなイベントを通じて同窓会を盛り上げていく所存です。そして大学、学部から翔る学生へのサポートに力を注ぎ、卒業後も繋がっていただけるより良い環境作りに努めて参ります。われわれ「明翔会」一同をよろしくお願い致します。

緑風会設立15周年に向けて邁進

不動産学科支部「緑風会」代表 渡辺孝之

不動産学部同窓会として1996年3月に設立。明海大学浦安キャンパス同窓会の支部では最も歴史が古く、わが国初の不動産学部卒業生からなる同窓会組織です。

創設時は、卒業後間もない同窓生の手探りにより運営された組織も、先輩諸氏の献身と不動産業界を中心に諸方面で活躍する同窓生の支援のもと設立12年目を迎え、安定的な活動を継続しております。

本会は、同窓会報「RE.A.News」の発行、資格取得支援、就職支援及び学生支援を主な継続事業としており、過去には不動産時事に関する講演会活動、学生宅建合宿への講師派遣、設立10周年記念パーティーも盛大に催されています。

また、不動産学部同窓会の特色を最大限生かすため、下部組織として2005年に不動産緑風会、2006年には緑風塾を設立。不動産緑風会では、不動産業界で活躍する同窓生の交流の場を提供し、不動産物件の情報交換会や親睦会、勉強会を随時開催。緑風塾では、同窓生のビジネススキル向上のため、通信による宅建講座を年5回開講しています。



▲第15回評議員会にて

同窓会支部のバイオニアとして、今後とも柔軟かつ多彩な活動を目指してまいります。

同窓生 からのたより



松澤俊之（1997年・中国語学科卒）

私は、2002年7月より社団法人埼玉県看護協会に勤務しています。この団体は看護職のための職能団体であり、主に看護職のための研修をはじめ、求人や求職、訪問看護ステーションや特別養護老人ホームの運営、一般の方向けには介護の研修を行っています。私は、主に入会担当として仕事をしております。入会の事務手続、会員証や入会に関する書類の発送、登録データの変更などを行っています。看護協会の業務はまだまだ手探りの状態が進んでいるものが多く、毎年少しでも良いサービスを会員の皆様に提供できるよう、日々努力しています。埼玉県内に勤務している看護職の方が、43000人程であり、そのうち看護

感謝の気持ちを忘れずに…

協会に入会している方が約16900人です。埼玉県は全国的に入会率が悪く、少しでも加入率を上げることが使命です。ちなみに、明海大学病院でも6名の方が入会、歯学部保健管理センターでも1名の方に入会していただいております。大学時代、中国語作文の授業では中山時子先生に大変お世話になりました。先生はいつも語順の間違いをする私に、自宅まで連絡をくださったことがあります。その情熱に私の心は強く動かされました。その後、先生の勧めもあり、中国語作文や文学の勉強会に参加させていただいたりしました。私は現代文学にも興味があり、ゼミナールは小島久代先生を選択しました。私は、現在の仕事をする前は営業職に就いていました。業務内容は全く異なりますが、常にお客様の目線に立って仕事をする点では共通しています。相手の立場になって行動することはとても大事なことです。時にはお客様からお叱りを受けることもありますが、感謝の連絡をいただくと今までの辛かったことなど忘れてしまいます。私をここまで育ててくださったのは、お客様と同僚です。常に感謝の気持ち忘れずに、今後も仕事を続けていこうと思います。

恩師 からのたより



平井源治（経済学部教授）

学生時代の友人は人生の宝だ

私は1989年から20年間、経済学部で租税論と経済学演習を担当しました。租税論の講義では、受講生が租税の理論と制度を学び、社会に出てから例えば一般紙の税金に関する記事に興味をもち、その議論を理解できるようになることを自らの教育目標としてきました。近年、わが国の経済政策は景気回復か財政再建かの選択問題に直面し、その関連で消費税の税率引上げが大きな争点になっています。租税論の授業でえた知識がこの議論の理解に役に立っていれば、教育者としてこれ以上の喜びはありません。演習では、合計232名の卒業論文の作成を指導しました。男女さまざまなパーソナリティをもつゼミ生の顔が浮かんできます。テニス部の顧問も長年務めてきましたが、同様に彼らの個性を忘れられません。全員が職場や家庭や地域で奮闘していると思いますが、どうか頑張つて納得のいく人生を送ってほしいと願わずにはいられません。ところで、日本人は同窓会が好きな民族とよくいわれます。その理由は、学生時代に利害関係抜きの友情を育み、その魅力に心酔する思いが湧いてくることにあるのでしょうか。私自身も小・中・高・大とそれぞれ学友がおり、同窓会によく出かけますが、金銭的な損得勘定のない人間関係が生きていく楽しみのひとつになっています。日本人はウエットで人情に溺れやすいとよく非難されますが、ドライと思われている欧米人も約束を守り、友情を続けることを大切にしています。少なくとも、私を知る人は人間レベルの友情に掛け替えない価値を置いています。諸君たちのなかにも、明海時代の友人と長い付き合いをしている人が多いと思います。金持ちでも友だちの少ない人生は寂しいし、質素な生活でも友情や愛情に恵まれた人は幸せでしょう。最後に、「学生時代の友人は人生の宝だ」という言葉を「恩師からのたより」として、このコラムを読んでいる卒業生に贈ります。

2008 EVENT FLASH

2008.5.10

2008年度 同窓会代議員会

5月10日（土）、浦安キャンパスで2008年度同窓会代議員会が開催された。歯学部同窓生でもある、安井学長をはじめ大学教職員も出席。

はじめに鈴木学生支援課長から大学の近況報告があり、続いて2007年度事業報告及び決算報告が行われ、賛成多数で承認された。また、2008年度同窓会理事と代議員が選出され、会長に北原淳氏が再任、2008年度事業計画及び予算案も賛成多数で承認された。

新たに、仮支部として日本語学科同窓会とホスピタリティ・ツーリズム学部同窓会の設立が承認され、さらなる支部活動の活性、支援強化が確認された。在学生への協力・援助事業としては引き続き「体育会への援助」そして「就職支援への協力」も加わり大学と一体となってサポートしていく。



2008.9.2~3

学友会 サマーキャンプ

鬼怒川観光ホテル（栃木県）で行われた2008年度明海大学浦安キャンパス学友会サマーキャンプ。今回は学生171人を含む総勢246人が集まった。

学長をはじめとする教職員など多数の来賓も参加するなか、同窓会からは尾崎知伸理事が出席、「活発に意見を出していただき、同窓会としてサポート・支援できることがあれば考えていきたい」と挨拶した。

今回は前年度より日程を短縮しての開催だったが、活発な意見交換があり、にぎやかで充実した2日間となった。



2008.11.1~3

第21回 明海祭

今回の明海祭は、「虹」がテーマ。「多くの色が合わさって空に架かる虹のように、明海祭も参加・協力して下さる全ての人の無限の色を足して創り上げたい」そんな実行委員たちの願いが込められた。

写真は、この学園祭で初めて利用される、正門前広場の屋外ステージ。イベントを運営する実行委員たちにも「使いやすい」と好評だった。

晴天に恵まれ、どのブースも学生や「毎年、この祭りを楽しみにしている」という近所の人たちでごった返していた。



会計報告

セキュリティの関係上、インターネットには公開致しません。

会員でご覧になりたい方は、直接事務局までお問合せ下さい。

体育会

からのメッセージ

ヨット部

平成20年度体育会ヨット部は、春・秋2シーズンの関東大学ヨット選手権とともに2年連続決勝進出を果たし、春は関東7位、秋は12位という成績を残すことができました。

また、シーズン最後を飾る第8回千葉県大学ヨット選手権大会では、初の総合優勝を果たし、個人戦470級でも1・2位と上位独占し、有終の美を飾ることができました。本学ヨット部を再興してまだ2年、大学をはじめOB諸氏の支援と協力に心から感謝し、次年度こそ全日本大学出場に向けて邁進したいと思います。

(監督 國府田由隆)



空手道部



平成17年に体育会として認められて以来、奨学金制度を利用して部員確保に努めてきました。

本年度は監督も変わり、また新コーチも就任し、指導体制が整いました。

東日本大学選手権大会(5月18日)男子団体戦では、3回戦で強豪校・拓殖大と対戦。気迫に圧倒され敗退し悔しい思いをしましたが、精神面の弱さを克服すれば今後十分やれると確信しました。

関東大学選手権大会(10月13日)男子団体戦では、日本大・大正大を三田主将と4年生が中心となり気迫で相手校を圧倒し、ベスト8入りできました。部員は気持ちの持ち方が大切であると実感しました。女子団体戦は2回戦で敗退しましたが今後に期待を持たせる試合内容でした。

全日本大学選手権大会(11月23日)男子団体戦では、九州の強豪校と対戦。技術と気迫が空回りしうまく噛み合わず敗退し、残念ではありましたが、今後に活力を与えました。

次年度も全員一丸となり文武両道を心に努力しますのでご指導のほどよろしくお願い致します。(監督 上妻優介)

サッカー部



1988年の創部から21年目を迎え、創部以来の悲願である「関東大学サッカーリーグ」へ昇格を目指し、1年間チーム一丸となって戦ってきました。

今年度は千葉県大学サッカー1部リーグにおいて創部以来初となる2年連続優勝を果たし、関東大学サッカー大会へ進出しました。予選リーグにおいて明海大学・日本大学・産業能率大学の3チームが2勝1敗で並ぶ大混戦となりましたが、本学は得失点差で1点及ばず残念ながら昇格決定戦に進出することはできませんでした。

来年度も公式戦は明海大学浦安キャンパス人工芝グラウンドで行うことができればと思っています。しかしOB・OGの皆様への応援は残念ながら皆無に等しいのが現状です。

今の学生たちも、今まで明海大学サッカー部の歴史を作ってきてくださったOB・OGの皆様と同じように、明海大学及び明海大学サッカー部の発展のために日々戦っています。そんな彼らの生の姿を皆様に見ていただくことができれば幸いです。(コーチ 八津川義廣)

2008年度 事業計画

1. 同窓会主体事業

事業項目	目的	事業内容
広報	同窓会からの情報発信を通じて、同窓会活動及び大学の現状を広く会員に伝達すると共に、会員の情報を収集し母校の発展に寄与する。	会報発行(年1回)、リーフレット作成、会員データの更新・管理、同窓会ホームページの更新・管理
連絡会	地区連絡会の開催を通じて、会員相互の交流を深め同窓会の活動基盤の強化を図る。	地区連絡会開催(4地区)(東北/北陸/東海/近畿)
支部	支部組織の拡充支援を行い、同窓会の活動基盤の強化を図ると共に母校の発展に寄与する。	既発定支部の活動強化(緑風会/明英/中国語) 新支部発定準備支援(日本語/HT)
企画	会員に対する平等なサービス・支援を行い、同窓会事業に対する理解を深めてもらう。	同窓会パーティーの開催、記念事業の継続(ワイン)、学園祭参加団体表彰(新規案)
財務	同窓会の安定的な財源の確保を図り、運営基盤を強化する。	同窓会の法人化に向けた調査・検討を行う。(法律・会計・資金運用等)

2. 協力・援助事業

事業項目	目的	事業内容
学生活動支援	準会員である在学生の様々な活動支援を図り、同窓会活動に対する理解を深めてもらうと共に、大学の発展に寄与する。	就職活動支援(OB・OGセミナー開催、職種別セミナー開催)・課外活動支援(体育会、サマーキャンプ、スノーキャンプ、ボランティア活動、卒業パーティー)

住所変更は

お忘れなく!

一人暮らしをしていて、お引越した際に同窓会事務局への住所変更を忘れ、「住所不明」になってしまった同窓生の方が多くいらっしゃいます。その際、ご実家宛に「会報」等を送付させていただいております。もし、ご実家に届きましたら、ご本人に住所変更をするようお伝えください。

編集後記

今年度は私の個人的な考えで会報一面には安井学長と北原会長とのトップ対談をと考えていました。当初、お二人のスケジュールが調整できるか心配でしたが、無事、実現できてほっとしています。対談は、もっと色濃く明海カラーをだしていかなくてはいけないこと、そして在学生へどう引き継ぐのかを考えさせられる内容でした。

締め切り間近にもかかわらず、「恩師からのたより」の依頼を快諾してくださいました平井先生には心から感謝いたします。20年間本当にお疲れ様でした。私自身は他学部でありながら、テニス部の同期共々、非常にお世話になりました。経済学演習でお世話になった卒業生、テニス部の卒業生の皆さん、平井先生へ会いにぜひ、大学へお越しください。

年々、同窓会報も紙面が充実して読みやすくなり、進化と変化を遂げています。編集者自身も楽しめるように試行錯誤しながら同窓生の皆さんに情報を発信し続けられるよう努力していきたいと考えております。

在学生への就職支援協力については、同窓生皆さんの協力なくしてこの事業の強化は成し遂げることができません。就職活動においては、より多くの社会人の先輩と話をし、仕事観を養うことが重要だと私は考えております。在学生の就職支援へご協力いただける方は事務局までご連絡ください。よろしくお願いたします。

編集長 熊沢 基之